

パイプインパイプ工法 (PIP : Pipe in Pipe)

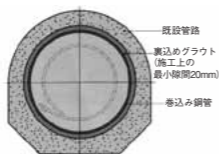
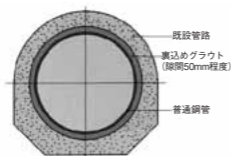
日鉄パイプライン & エンジニアリング (株)

既設管内に工場で製作された鋼管を持ち込み、地表面を掘り返すことなく、溶接による一体構造管路を構築する工法です。

また、工場の造管過程で一回り小さく巻き込んだ鋼管を既設管内に持ち込み、既設管内で拡管後、溶接して一体構造管路を構築する巻き込み鋼管工法もあり、既設管の口径に近い通水断面が要求される場合や曲がりのある管路に適用されます。

【工法の特長】

- (1)既設管路内に鋼管を挿入布設するため、立坑のみの築造で工事が可能であり、開削に伴う交通渋滞などへの影響を最小限に抑えることが可能です。
- (2)老朽化した管路に替えて、現地溶接にて一体化した鋼管管路が形成できるため、耐震性、沈下追従性、水密性などパイプラインとしての信頼性向上が図れます。
- (3)強度の高い鋼材を用いるため、挿入管材の薄肉化が図れることにより、断面の縮小を最小限に抑えることができます。また、内面塗装が施されることによる粗度の改善と相まって、通水性能を改善します。



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。